

# 家族と厄災

▶▶▶ 信田さよ子

非常時の水面下で起きていたこと  
これからも起こりうること

パンデミックは家族に何をもたらしたのか。  
家族で最も弱い立場に置かれた人々の、  
手さぐりと再生の軌跡を見つめたエッセイ。

9/20 発売

信田さよ子 (のぶた・さよこ)  
公認心理師、臨床心理士、  
原宿カウンセリングセン  
ター顧問、日本公認心理師  
協会会長。著書に『母が重  
くてたまらない』『家族と国  
家は共謀する』他。

連載時から大反響!

「しんどいけど読んでよかった」  
「すごい読み応え」「勇気が出る」  
「この文章に救われる」



四六判並 192頁 定価(本体1,900円+税)  
ISBN978-4-910790-11-4 C0095

私は、何かを変えたくて、変えなければ苦しくて生きていけないのでカウセリングにやってみて女性たちを、いつも念頭に置いていた。コロナ禍は彼女たちの変化を加速させた。家族関係において溜まったものが濃縮・凝縮されて噴出したかのようだった。その変化の波が押し寄せた時、彼女たちは正面から向かっていった。そうして、ちゃんと生き延びていったのである。(本文より)

ご注文方法

ご希望の方法をご指定ください

直接取引 (トランスビュー 取引代行/返品可)  
FAX: 0120-999-968



トランスビューの取扱で納品。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じです(随時返品可)。トランスビューとのお取引がないお店からのご注文は、小社よりご連絡します。

取次ルート (日販・トーハン・楽天 BN 等全取次で注文可 八木書店経由 返品条件つきで随時出荷)  
FAX: 03-5784-5793 (生きのびるボックス・篠田)

返品の際は、FAXにて返本了解依頼書をお送りください。

番線印	注文数	家族と厄災 定価(本体1,900円+税) ISBN978-4-910790-11-4
ご担当	冊	